



「欲張らない投資」のススメ

「スパイス的な投資」の分量、 ほどほどですか？

これまでの「投資」のイメージは
「スパイス的な投資」ではありませんでしたか？

□ 「投資」のイメージ、なぜ悪い？！

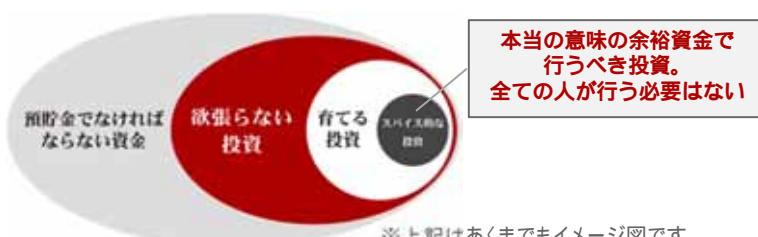
「投資」と聞くと「怖い」、「損しそう」、「ギャンブルみたい」と思われる方もいるようです。世の中の「投資」のイメージは、「**スパイス的な投資**」に近いのかもしれませんが。

ピクテが考える「**スパイス的な投資**」とは、**高いリターンを期待して本当の意味での余裕資金で行う投資**です。

ご自身の資産を考えた場合、まず重要なのは預金です。しかし、預金だけではインフレ等から資産を守ることはできません。そのため、**預金の一步先へ進む「欲張らない投資」**が必要です。さらに、**資産の成長を促す「育てる投資」**を加えることも重要です。では、「**スパイス的な投資**」はどのように考えたらいいのでしょうか？

そもそも、スパイスとは香辛料のこと。胡椒のように味に変化を出したり、おいしく感じさせたりする効果があり、そこから転じて、物事にちょっとした特徴を加えて気の利いたものにするを「**スパイスを利かせる**」といいます。投資にも同様のことがいえ、まさに「**スパイス的な投資**」は「**なくてもいいけれど、ちょっとあるといい**」といえます。

預金を含めた全体設計



※上記はあくまでもイメージ図です。

□ 「スパイス」は分量が重要

では、「**スパイス的な投資**」はどんな投資なのでしょう？

ある程度のリスクを取って高いリターンが期待できる単一国の株式・通貨への投資、個別銘柄の株式投資や市場規模が大きい特定資産への投資です。一例を挙げると、ロシアやブラジルのように新興国の単一国の株式・通貨、リート、ハイイールド債券等への投資があります。しかし、こうした資産への投資は「**いい時はいいけど、悪いときは悪い**」ということを認識しておく必要があります。

「**スパイス的な投資**」と上手に付き合っていくためには、**市場の動き（売買のタイミング）を見極める判断力が必要です**。または、**大幅な下落局面に遭遇しても、「長期投資」できるかが重要です**。そして**投資金額はスパイスなので「ほどほど」がいいでしょう**。

最後に。ご自身の「**スパイス的な投資**」の分量は、ほどほどですか？

今回のポイント

- 「**スパイス的な投資**」は「**なくてもいいけれど、ちょっとあるといい**」ものです
- 「**市場の動きを見極める**」判断、「**長期投資**」と「**ほどほど**」な投資金額が重要です

当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。